

2019年8月26日

鹿児島大学病院 泌尿器科で
上部尿路癌の治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院泌尿器科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

上部尿路癌における予後予測マーカーの開発（研究番号 JCOG1403A1）

【研究機関】

鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 泌尿器科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 泌尿器科
教授 中川 昌之

【研究の目的】

腫瘍組織における遺伝子や尿中のマイクロRNA、さらに腫瘍組織や血液中における糖鎖を調べて、がんの特徴と関連のある異常を見つけ出すこと、および治療効果や予後を予測できるマーカーを見つけ出すことを目的としています。この研究の結果、膀胱内再発の危険性や治療の効果が予測できるようになれば、再発を調べる検査の頻度や使用する治療法の決定に重要な情報が得られることが期待されます。

【研究の方法】

遺伝子変異を調べるために、手術で摘出されすでに保管されている腫瘍組織と正常組織を用います。マイクロRNAの発現の解析は、手術前と手術後の尿を用います。糖鎖変異は、この研究とは別に同意いただいた、バイオバンク・ジャパン（BBJ）で保管されている血液（血漿（けっしょう））を用います。

【対象となる患者さん】

2018年9月26日から2026年10月31日までに、鹿児島大学病院泌尿器科で上部尿路癌と診断され治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

情報：JCOG1403で得られた診療情報、JCOG1403登録番号、BBJ登録番号

試料：尿（手術前と手術後に採取したもの）、組織（手術の際に採取した一部）、血漿（BBJで保管されているものの一部）

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、当施設からJCOGデータセンター、試料解析施設等への試料、臨床情報の提供は、JCOG登録番号、BBJ-ID、2nd-ID、Tsukuba-IDを用いて、特定の関係者以外が個人を識別し得る情報にアクセスできない状態で行います。

対応表は、当施設の研究責任者、JCOGデータセンター、BBJ、つくばヒト組織バイオバンクセンターが保管・管理します。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

本研究は、通常の診療や手術などですでに保管されている検体を使用するため研究費は生じません。本研究の利害関係の公正性については、鹿児島大学研究倫理委員会の承認を得ています。今後も、当該研究経過を研究機関長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 泌尿器科

准教授 榎田 英樹

電話 099-275-5395 FAX 099-275-6673